



奄美まーぐん広場における 福祉×観光×地域の まちづくり



大好きな“歴史・文化・人”を現場でつなぐ



奄美大島の「伝泊+まーぐん広場・赤木名」は、宿泊、レストラン、カフェ、高齢者施設、子育て支援スペースなどを含む複合施設です。その発想の根源はドイツの都市・ベートルにありました。北陸・石川での真に豊かなインクルーシブ社会の実現を目指して語り合うシンポジウムです。

UDI
シンポジウム
2019

参加
無料
定員70名

6/22 土

14:00 ▶ 16:40 (13:45開場)

会場 石川県政記念しいのき迎賓館2階
ガーデンルーム (金沢市広坂2-1-1)

関心のある方なら社会人・学生問わず
どなたでもご参加いただけます。

第1部

基調講演「まーぐん広場の挑戦」 60分

山下保博氏

(株)アトリエ・天工人 代表取締役/
奄美イノベーション(株) 代表取締役

14:00~
15:00

第2部

トークセッション

「インクルーシブ社会のデザイン」 80分

山下保博氏 × 太下義之氏 × 荒井利春氏

15:20~
16:40

懇親会

カフェ&ブラッスリー ポール・ボキューズ

金沢市広坂2-1-1 (石川県政記念しいのき迎賓館内1階)

会費:5,000円

17:00~

登壇者プロフィール



山下 保博 やました やすひろ

(株)アトリエ・天工人 代表取締役
奄美イノベーション(株) 代表取締役

1960年鹿児島県奄美大島生まれ。芝浦工業大学大学院修了後、1991年に建築設計事務所アトリエ・天工人を設立し、国内外で数多くの建築賞を受賞。奄美の古民家を宿泊施設として再生させ、伝説や伝統を次の時代に伝える「伝泊(でんぱく)」を開始。2018年地域包括コミュニティ施設「伝泊+まーぐん広場・赤木名」をオープン。伝泊として奄美群島内に18施設の運営を手掛けるまでに成長させた。今年5月に新会社「伝泊+工芸」を設立し、アートと宿泊、食を軸とした地域づくりを全国で精力的に続ける。



太下 義之 おおした よしゆき

文化政策研究者

専門は文化政策。博士(芸術学)。独立行政法人国立美術館理事、公益社団法人日展理事、公益財団法人静岡県舞台芸術センター評議員。文化経済学会<日本>理事、文化政策学会理事、デジタルアーカイブ学会評議員、政策分析ネットワーク共同副代表。東京都芸術文化評議会委員、2025年大阪万博アカデミック・アンバサダー、オリンピック・パラリンピック文化プログラム静岡県推進委員会副委員長、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー。



荒井 利春 あらい としはる

(一社)ユニバーサルデザインいしかわ 理事長
金沢美術工芸大学 名誉教授

Arai UD Workshop 荒井利春実験工房 主宰。1980年代より体の機能に障がいのあるセンシティブなユーザーと日用品や家具、住宅設備などのデザインプロジェクトを持続し、グッドデザイン賞など多数受賞。また、医師や看護師、患者が参加する病院のデザインコーディネーションや公共建築のユーザー参加型デザインを進める。2004年から国際ユニバーサルデザイン協議会のユーザー参加型デザインワークショップも監修。

ユニバーサルデザインいしかわは、多様な分野におけるUDプロジェクトの実践に取り組みます

ユニバーサルデザイン (UD)

年齢・性別・人種・障害や能力の差に関わらず、できる限り多くの人々が利用しやすい道具や設備、都市や生活環境をデザインする考え方と方法です。UDIは、1本のスプーンからまちづくりまで。日本、そして世界の、ものづくり・社会づくりの根幹をなすものになっています。

一般社団法人ユニバーサルデザインいしかわ

北陸の地域特性に根ざしたUDの普及を図る事業を行い、UDの考え方や手法を、福祉医療、地場産業、建築、スポーツ、アート、観光など様々な領域での課題解決やデザインの推進に役立てることを通して、多様で豊かな生活情景の醸成及びまちの実現に寄与することを目的に設立した一般社団法人です。

申込方法

下記必要事項をご明記の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

メール contact@ud-ishikawa.com FAX 076-223-4144

定員に達した場合は、申込受付を終了させていただきます。その旨は、ホームページ (www.ud-ishikawa.com) 及びFacebookにてお知らせします。情報保障のご利用など、ご相談があれば事務局までお気軽にお問い合わせください。

氏名 電話

メールアドレス 所属団体

懇親会に 出席します 欠席します 備考

参加
無料

定員70名

事前申込制
申込み切6/15